

地方公営企業法第40条の2の規定に基づいて、平成26年度阿南市水道事業経営の業務概況について公表します。

平成27年11月1日 阿南市長 岩浅 嘉仁

## 水道事業の公表にあたって

平成26年度も引き続き水道事業の使命である安定給水と未給水区域の解消を基本目標とし、富岡地区では、現在施工中の公共下水道事業と連携し、老朽管を耐震管（NS管）に更新しました。また市内主要管路におきましても老朽配水管の布設替工事等を実施してきました。

今後、災害等に強い水道のまちづくりを努めるとともに、効率的な事業運営に取り組んでいきたいと考えています。

業務面では、徴収・収納窓業務の民間委託が1期目の最終年度となり、民間活力による市業務と委託業務の明確化・業務連携の徹底を継続したことにより、水道料金の収納率・収納額ともに、前年度実績を上回る成果を上げております。今後も引き続き、滞

納者には督促や催告通知をし、さらには給水停止を実施する等して徴収強化に取り組みたいと考えています。

水道事業経営につきましては給水人口の減少や節水機器の普及等により収益は年々下降をたどり、一方で老朽水道施設の更新や耐震化等実施しなければならぬ工事が山積し、また事業拡張時に借り入れた企業債の返済がピークを迎え、非常に厳しい経営状況となっております。

今後は、水道料金の収入の確保に一層努めるとともに、「阿南市新水道ビジョン」を策定し、老朽施設の更新・耐震化等、施設の再構築事業を年次計画的に進めていきたいと考えています。

問い合わせは 水道部業務課 (022-05007)へ

## ■貸借対照表 (税抜)

平成26年度決算は地方公営企業会計制度改正後初の決算となるため、昨年度と比べて以下の点が大きく変更されました。

- ・企業債を固定負債及び流動負債に計上
- ・固定資産のみなし償却制度廃止により、一部の資本剰余金を繰延収益（長期前受金）に計上
- ・固定資産のみなし償却制度廃止により、利益剰余金が発生

科目	金額	科目	金額
固定資産	148億2,579万円	固定負債	78億3,811万円
(有形固定資産)	148億2,504万円	企業債	78億3,811万円
土地	3億3,706万円	流動負債	7億4,629万円
建物	5億53万円	企業債	4億8,812万円
構築物	134億2,935万円	営業未払金	7,486万円
機械及び装置	4億3,847万円	営業外未払金	3,110万円
車両及び運搬具	1,005万円	その他未払金	1億1,384万円
工具器具及び備品	2,898万円	前受金	1,018万円
建設仮勘定	8,060万円	賞与引当金等	870万円
(無形固定資産)	75万円	その他流動負債	1,949万円
電話施設利用権	42万円	繰延収益	33億2,951万円
ソフトウェア使用権	33万円	長期前受金	33億2,951万円
流動資産	14億6,616万円	資本金	14億2,594万円
現金預金	10億6,893万円	資本金	14億2,594万円
営業未収金	2億5,889万円	剰余金	29億5,210万円
営業外未収金	39万円	資本剰余金	6億3,485万円
その他未収金	8,775万円	利益剰余金	23億1,725万円
貸倒引当金	△744万円	負債・資本合計	162億9,195万円
貯蔵品	3,798万円		
前払金	1,966万円		
資産合計	162億9,195万円		

## ■業務概況

給水戸数	29,048 (戸)
給水人口	71,370 (人)
年間有収水量	9,427,753 (m <sup>3</sup> )
一日平均有収水量	25,829 (m <sup>3</sup> )
一般用有収水量	8,030,633 (m <sup>3</sup> )
業務用有収水量	1,354,026 (m <sup>3</sup> )
湯屋用有収水量	27,449 (m <sup>3</sup> )
その他有収水量	15,645 (m <sup>3</sup> )

## ■収益と費用 (税抜)

